

# 館蔵 品展

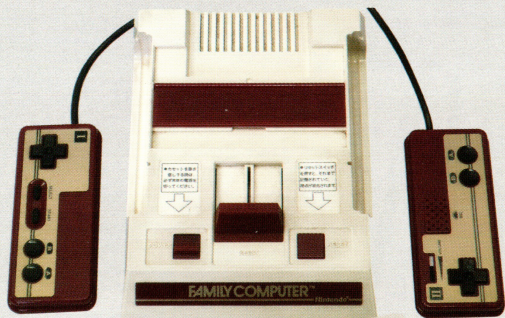
# 私たちが生きた 昭和と平成

さよなら  
平成  
よろしく  
令和

## 暮らしを変えた 道具たち

戦後、日本は高度成長時代を迎え、科学技術の発達とともに、電気製品、化学製品が普及、私たちの生活は劇的に変化しました。そして今も科学技術の革新は、次々と新しい製品を生み出し、私たちの生活は変化し続けています。  
今回、昭和・平成・令和と今を生きる私たちが、知っている、見たことある、使ったことあるという過去形になった電気器具等、私たちの身の回りであった生活道具を戦後の昭和と平成の歴史をたどりながら展示します。

ファミリーコンピュータは、任天堂より昭和58年(1983)7月15日に発売された家庭用ゲーム機。型番はHVC1001。HVCはHome Video Computerの略である。  
日本国内での略称・略記は「ファミコン」。任天堂の公式表記では「コンピュータ」と末尾の長音を伸ばしていない。  
当時の発売価格は14,800円。



ファミリーコンピュータ  
(昭和58年)



スプリングカメラ  
パールⅢ MX  
(昭和31年)

スプリングカメラは、レンズをカメラボディに収納することにより収納時の容積を減らすことができるフォールディングカメラのうち、収納状態から撮影準備状態に立ち上がらせる時、ボタンを押すとバネの力でレンズを押し出し自動的に所定の位置に固定されるものをいう。  
日本製スプリングカメラは、小西六本店(コニカを経て現コニカミノルタ)



赤電話  
(昭和42年)

昭和8年(1933)に発売したパールが最初であり、軍需インフレの波に乗りスプリングカメラブームを形成した。当初の日本製スプリングカメラの特質として、少数の例外を除きセミイコンタコピー一辺倒であった。

委託公衆電話は、電気通信事業者が駅・公共施設・テーマパーク・ショッピングセンター・商店などの構内に設置し、施設の運営者に管理を委託している日本の公衆電話である。電話機本体の色が赤いことから赤電話と呼ばれたこともあった。

(Wikipedia:ja)

## 令和元年 6月26日(水)～9月1日(日)

### 松阪市立歴史民俗資料館

三重県松阪市殿町 1539 番地 (松坂城跡内)

TEL&FAX 0598-23-2381

松阪市立歴史民俗資料館

検索

入館料	一般/80円・6歳以上18歳以下/40円
休館日	月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日
開館時間	9:00～16:30
アクセス	電車:近鉄/JR 松阪駅下車徒歩約15分 お車:松阪ICより約10分 市民病院前の松阪市駐車場(無料)をご利用下さい。

※藍の縞模様は、伝統工芸品の「松阪木綿」柄です。